



【7月の行事予定】



	月	火	水	木	金
13週	6/29	30	7/1	2	3
	マラドサ中② 14時バス下校	ALT来校	全校朝会 マラドサ高①低② 委員会活動	修学旅行 (1日目) 盤溪川出前授業 (4年生)	修学旅行 (2日目) SC来校
14週	6	7	8	9	10
	マラドサ中①高② どんぐりふれあい給食 14時バス下校	体カテスト 中①、2・5年③④	体カテスト 高①、低② クラブ活動	体カテスト 3・4年①②、1・6年③④	プール学習①
15週	13	14	15	16	17
	交通安全街頭指導 (3年生) ALT来校 14時バス下校	盤溪川出前授業 (4年生)	ヒグマ講座②③ クラブ活動	参観懇談 14時バス下校	プール学習② SC来校
16週	20	21	22	23	24
	海の日	プール学習③	盤溪川出前授業 (4年生)SC来校 PTA役員会 5・6年 15時バス下校	盤溪川探検予備日 (4年生)	一学期終業式 盤溪川出前授業 (4年生) 14時バス下校

水泳学習について

先日の便りでお知らせしていた通り、今年度のプール学習もイトマンスイミングスクール宮の森校で3回行います。イトマンへの往復はイトマンのバスを使用しますのでバス代は不要です。

【日程】 ①7月10日(金) ②7月17日(金) ③7月21日(火)
 ・1～3年生 1～2時間目
 ・4～6年生 2～3時間目

【持ち物】

□水着 □水泳帽子 □ゴーグル(必要な人) □バスタオル □ぬれた物を入れる袋
 □すべてのものが入るバッグ

プール道具のご準備をお願いいたします。また、**当日のお子さんの健康調査は「すくーる」で行います。**後日、入力方法をお知らせいたしますので、忘れずに入力をお願いいたします。入力がされていない場合、学習に参加することができません。

当日、学習に参加できないお子さんも一緒に行き、学習を見学したり自習をしたりします。



ご家庭に学校の傘はありませんか？

突然の雨などにより子どもたちが学校から借りている傘は、ご厚意により寄付していただいた傘です。今後も大切に使用しますので、ご自宅にありましたらご返却をお願いいたします。

就学援助の申請について

6月19日(金)に配付した「就学援助のお知らせ」をご確認いただき、就学援助を希望されるご家庭は、「令和8年度就学援助希望調査について」のキトリ線以下を記入の上、学校までご提出ください。また、札幌市のHPより電子申請も可能となっております。継続希望の方も改めて、申請が必要となりますのでご注意ください。

学習参観懇談

7月16日(木)に学習参観懇談会があります。
13:15~14:00 参観授業
14:10~ 懇談会

授業内容や、場所については学年の時間割やお便りをご確認ください。皆様のご来校をお待ちしております。

次年度、新1年生のお子さんがある保護者の皆様へ

6月26日(金)に「令和8年度新入学(兄弟枠)の確認」のお便りを配付いたしました。次年度、新1年生を迎えるお子さんがいる場合は、盤溪小学校への入学希望の有無に関わらず、必ず新1年生のお子さんの名前を記入し、7月3日(金)までにご提出をお願いいたします。

学習用具の持ち帰り

夏休みに向けて、学習用具を持ち帰ります。計画的に持ち帰るよう、家庭でも声掛けをお願いいたします。

ハンカチ・ティッシュを持ってきましょう

手洗いの後、ハンカチがなくて手をパツパツと振り、床に水を散らしている子がちらほら見られます。床が濡れると滑って危ないだけでなく、衛生面も心配です。清潔なハンカチ・ティッシュは毎日の必需品です。毎朝ポケットに入っているか、登校前にご家庭でもお子様と一緒に確認をお願いいたします。

ヒグマ講座のご案内

15日(水)に「ヒグマ講座」を開催します。
9:20~10:05 高学年
10:30~11:15 低学年

環境局の方が、ヒグマの生態やヒグマに出あわないための方法について、毛皮や頭骨、糞などの標本を用いて説明してまいります。どうぞお気軽なく足をお運びください。皆様のご参加をお待ちしております。



ネットモラルを考える(第1回)

スマートフォンの普及に伴い、子どもたちの世界は急速に広がっています。その一方で、ネットやSNSをめぐるトラブルのニュースを目にしない日はありません。学校でも情報モラル教育に取り組んでいますが、子どもたちの安全を守るためには、ご家庭との連携が不可欠です。そこで、今月号から定期的に「ネットモラル」に関するコラムをお届けします。第1回目は、身近な「SNSトラブル」について考えてみましょう。

SNSでのトラブルを防ぐために保護者ができること

今や子どもたちにとってSNSは、友達との交流や情報収集の場として欠かせない存在です。しかし、その裏には誹謗中傷、個人情報漏えい、なりすましなど、さまざまなトラブルが潜んでいます。保護者として、子どもが安心してSNSを使えるようにするためには、どんなことができるのでしょうか。

まず大切なのは、「SNSは公共の場である」という意識を子どもに持たせることです。LINEやInstagramなどは、気軽に使える反面、発信した内容は多くの人に届き、時には予期せぬ形で拡散されることもあります。「友達だけに見せるつもりだった写真が、知らない人に見られていた」—そんな事態を防ぐためにも、投稿前に「これは誰に見られても大丈夫か?」と考える習慣をつけさせましょう。

次に、家庭でのコミュニケーションが鍵になります。SNSの使い方について、日常的に話し合える関係性を築くことが重要です。「困ったことがあったら、すぐに相談してね」と伝えておくことで、子どもがトラブルに巻き込まれた際にも早期に対応できます。逆に、保護者がSNSに対して過度な不安や否定的な態度を示すと、子どもは隠れて使うようになり、かえってリスクが高まります。

また、保護者自身もSNSの仕組みや流行をある程度理解しておくことが大切です。子どもが使っているアプリの特徴や、最近のネット上のトラブル事例などを知っておくことで、具体的なアドバイスができるようになります。

SNSは使い方次第で、子どもにとって大きな可能性を広げるツールにもなります。だからこそ、保護者が「禁止する」のではなく、「見守る」「話し合う」姿勢を持つことが、トラブルを防ぐ第一歩なのです。

ネット社会の荒波から子どもたちを遠ざけるのではなく、正しい泳ぎ方を教え、見守っていく。そのようなスタンスを、学校とご家庭と一緒に作っていきましょうと幸いです。